今後の販売方針

【全般】

(1) おが屑なしでの供給ニーズ(商品の軽量化と物流コストの低減化)

【アメリカ】

- (1) 品質向上による付加価値の創出
- (2) 2L~Mの小物ニーズへの対応
- (3) 現地販売活動への支援体制強化/パートナーシップの強化
- (4) 新しい食べ方の啓発(販売先スーパーでの試食イベント)

【台湾】

- (1) 品質向上による付加価値の創出
- (2) L~Mの小物ニーズへの対応
- (3) 新規販売先(カルフール)との連携強化(カルフールでの試食イベント)
- (4) メグのECサイトの活用(プロモーション、通販)

【シンガポール】

- (1) 品質向上による付加価値の創出
- (2) L~Mへの小物ニーズへの対応/特にパッケージ品を強化
- (3) これまでの既存顧客に加え、新規顧客(Hu Lee Impex)への連携強化
- (4) 20ft混載体制の確立/他産地との連携による季節商品(青果品、加工品)と合わせた混載便(20ft)
- (5) 現地販売活動への支援体制強化(販売先スーパーでの試食イベント) / パートナーシップの強化

【タイ】

- (1) 品質向上による付加価値の創出
- (2) 食べ方の啓発(販売先スーパーでの試食イベント)
- (3) 新規顧客(J-Plan Holidayが設立を予定している輸入会社)との連携強化
- (4) 20ft混載体制の確立/他産地との連携による季節商品(青果品、加工品)と合わせた混載便(20ft)
- (5) 現地販売活動への支援体制強化/パートナーシップの強化

対象作物の現状及び目標

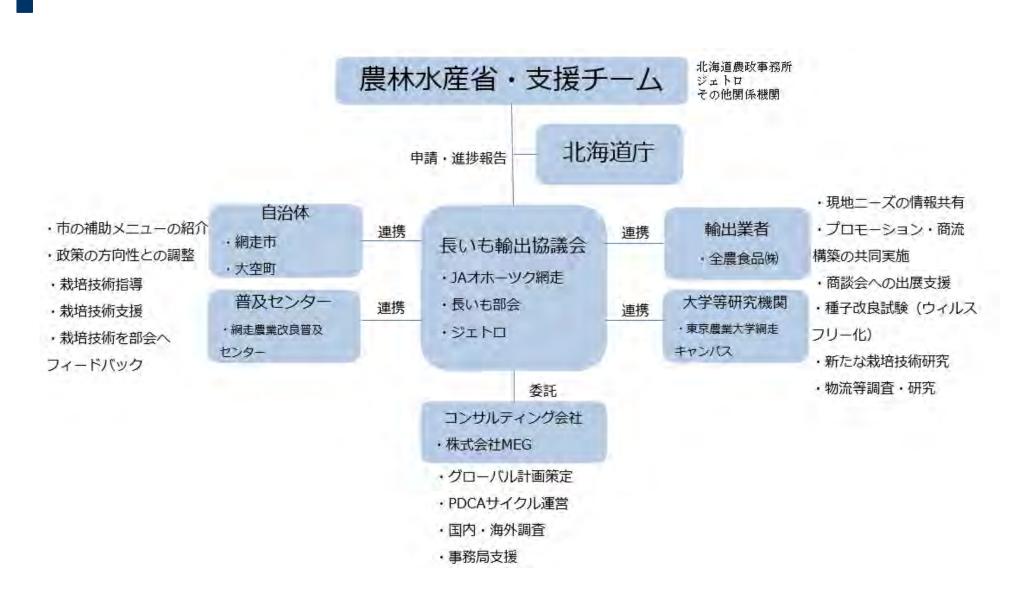
生産加工体制からの目標設定		現 況 (平成30年度)	計画(平成34年度)	備考
輸出額(円)	全エリア等	39, 242 千円	70, 280 千円	輸出総額の増加
輸出量(t)	全エリア等	119 t	200 t	出荷量の増加
生産量(t)	網走市・大空町東藻琴地区	1, 400 t	2, 400 t	生産量の増加

現地ニーズからの目標設定		現 況 (平成30年度)		計 画 (平成34年度)		備	考
販売単価	アメリカ・台湾	350	円/kg	350	円/kg	単価の現	!状維持
販売単価	シンガポール・タイ	380	円/kg	390	円/kg	高単価の	の維持
小物サイズの供給割合	全エリア	3	%	30	%	小物供給	本制確立
40ft出荷便数	アメリカ・台湾	7	便	12	便	出荷の	増便
20ft混載便本数	シンガポール・タイ	0	便	4	便	混載便の	の確立

[※]平成30年度は40ft出荷便の他台湾向けに20ft出荷便が1便あります

^{※20}ft混載便の1便出荷量150~200c/sと想定

事業の組織体制



検証と改善計画~PDCAサイクル~



結果から見える「問題点」に目を向け、「改善」できなければ、大きな成長は望めない。

その意味では、総括的なPDCAの検証体制を導入することは非常に重要である。

PDCAを用いることにより、計画、実行だけでなく、結果を評価し、改善するという一連のプロセスを意識的に行うことが可能。

また、PDCAサイクルは一度だけではなく、継続的に「回し続ける」ことに大きな意味がある。

PDCAサイクルは、継続的に業務改善を行うことより、社会ニーズや企業をとりまく環境変化をいち早く察知し、柔軟に対応できるためにも役立つ。

本事業において、栽培体制や優良種子の選抜に係るパートでは、長いも部会・普及センター・東京農大と連携し、新しい栽培方法を実践し、作業内容や品質について検証等を行いながらPDCA体制を確立していく。

商品の輸出に係るパートに関しては、1サイクルの精度を上げるよりも、なるべく短いスパンでサイクルを回すことを意識して展開する。そこで10年前から台湾、アメリカ、シンガポール、タイに長芋の豊富な輸出実績があり、また、4年前からJAオホーツク網走の長芋輸出を担当する、コンサルティングの(株)メグや、ジェトロとも協力してPDCA体制を確立し、各仕向国、各プランごとの評価をを行い、新たな改善計画を策定して、次の効果的なプラン実施につなげていく。

検証と改善計画~PDCAサイクル~

① 新たな栽培技術確立試験

評価-検証(c) 事業の実施(D) 計画の策定(P) 改善(A) 栽培計画策定 試験実施 評価・検証 課題分析·計画修正 実 施 オホーツク網走農業 種子、資材の調達 •作業機確保 • 収穫、選果 収量、品質の検討 主体 協同組合 ・ 圃場の選定 圃場管理 ·品質評価 ・ 資材の再検討 ア 試験法案の作成 試験実施 課題の整理 試験法案の再作成 ド 網走農業改良普及 バ ·要因分析 1 センター ザ

② 種子ウィルスフリー試験

		計画の策定(P)	事業の実施(D)	評価・検証(C)	改善(A)
実		 栽培計画策定 	試験実施	評価・検証	課題分析・計画修正
実 施 主 体	オホーツク網走農業 協同組合	・ウィルスフリー委託契約	- 種子供給	- 規格選別	- 選抜方法評価
体				・優良種子選抜	・生育方法評価
,		\$	1	1	\$
アド	網走農業改良普及	・試験法案の作成	・試験実施	•課題整理	·試験法案再作成
バイザー	センター 東京農業大学オホー ツクキャンパス			•要因分析	
ザー	ツクキャンパス				

検証と改善計画~PDCAサイクル~

③ HACCP対応の為の機械導入(電気リフト)

J	JCP対応の為の機械導入	計画の策定(P)	事業の実施(D)	評価・検証(c)	改善(A)
室		導入計画策定	 導入実施	評価・検証	課題分析・計画修正
実施 主体	オホーツク網走農業 協同組合	選果場内環境改善基準の策定	•作業機確保	・場内基準値(排ガス等)の検証	・HACCP対応の課題整理
体					・場内環境の再検討
		1	1	1	1
アド	全国農協食品株式	・策提案の検討	・場内環境のチェック	・場内環境のチェック・検証	選果場内環境整備基準の再作成
バイザー	主国层颁良品标式 会社 株式会社MEG			•要因分析	
.	マナーン・ベマルバニ ク・の	*=			l

(4) 荷受けコンベア及びラインの変更 事業の実施(D) 評価·検証(C) 計画の策定(P) 改善(A) 導入実施 評価・検証 課題分析·計画修正 導入計画策定 実 施 オホーツク網走農業 · 施設変更位置検討 試験選別実施 - 品質評価 コンベア調整 主 協同組合 体 サンプル品検証 ア ・選果時及び配送時における •試験品発送 •課題整理 ・課題案再作成 全国農協食品株式 品質面での課題策定 バ 会社 •現地確認 ·要因分析 イ 株式会社MEG ザ

コンサルティング会社

本事業でコンサルティングを担当する株式会社メグは、10年前から台湾、アメリカ、シンガポール、タイに長芋の豊富な輸出実績があり、また、4年前からJAオホーツク網走の長芋輸出を担当する。また海外における豊富な物産イベントの開始実績や、台湾では越境ECサイトなども運営。2020年には漢神巨蛋購物廣場(台湾高雄市)に、日本物産の専門ショップを出店予定(9月)。JA全農青森や契約農家(帯広・幕別・青森)の長芋など、数々の長芋輸出実績がある。



北海道オホーツク網走農産品販売イベント (台湾)



北海道メロン・プルーン販売促進イベント (シンガポール)



長いも販売促進イベント (アメリカ ダラス・ヒューストン)



テレビ番組と連携した東北物産展の開催 (タイ)



株式会社メグ 代表取締役 林 克宜

大学卒業後、外資系広告会社にてコピーライター、 マーケティングディレクターを歴任。

大手紙おむつメーカーや医薬品メーカーを中心に、数々の広告プロモーションを担当。

その後独立し、企業の広告キャンペーンや、テレビCM、 テレビ番組などの企画・制作などを手掛ける。

1998年6月コミュニケーションサービスを中心とした事業を拡充するため株式会社メグを創業。

2004年6月にはODAによる「中国でのマグロの市場開拓のコンサルテーション業務」を海外漁業協力財団より受注。中国国内でのマグロブーム創出に大きく寄与する結果となる。

2010年、農産品を中心に輸出事業にも進出。

2013年1月、海外における日本ブランド発信力強化を 目的に社内にJAPANBRAND推進室を設立。

現在、台湾、アメリカ、タイを中心に農産物、加工食品等の輸出や、現地での販売業務などを展開している。 農産物輸出の講演や勉強会など実績多数。